

**丸文株式会社**  
**2024年3月期第2四半期 決算説明会**  
**質疑応答（サマリー）**

日時：2023年11月7日（火）10:00 - 11:00

場所：丸文本社よりライブ配信

説明者：代表取締役社長 飯野 亨

**Q：配当政策でDOEを導入した背景、目的を教えてください。**

A：当社の業績は、シリコンサイクルや為替・金利等の市場要因による影響を大きく受けることから、それに伴い配当の変動幅もやや大きかったかと思えます。配当性向40%という業績連動配当に加え、今回DOE2.5%という下限を定めたのは、株主の皆様へ安定的かつ、より充実した株主還元姿勢を明確にお示しすることを目的としています。

**Q：成長投資に関して、ターゲットとする市場や投資の基準について教えてください。**

A：当社が非連続成長機会を求める事業領域は、「デジタル化」や「AI・IoT」、「ロボティクス」、「医療・ヘルスケア」など当社が技術商社として付加価値を提供すべき市場・分野になります。事業投資では、中計目標のROE 8%以上と整合する事業計画であることを前提に、投資規模は中計期間の3年間で自己資本額の5%から10%程度を目途とし、運用していく方針です。

**Q：デバイス事業で、民生機器向けが伸長要因だったとの説明だったが、具体的にどのような内容が伸長したのか、可能な範囲で教えてください。**

A：民生機器向けが増加したのは、特に娯楽向けやカメラに組み込まれる半導体が大きく伸長したことが要因となります。

**Q：足元の在庫水準をどうみられていらっしゃいますか？2023年度末までにどの程度圧縮するのが理想的だとお考えですか。**

A：半導体はサプライチェーンが正常化し、お客様でも在庫保有が見られる状況になっております。市場は調整期間に入っていると考えておりますが、当社としては今後も在庫の圧縮を進めていきたいと考えております。

**Q：デバイス事業のアナログIC、特定用途ICに関し、可能な範囲で具体的にどのような製品が、についてヒントをいただけましたら幸いです。**

A：アナログICや特定用途ICは民生、産業、車載など幅広い用途で使われており、様々なお客様との取引がございます。詳細については守秘義務もございますので、回答はご容赦ください。